

## 令和元年産 紀南のみかん産地情報

2019/07/10

1. 4月から開花期にかけて、気温は平年並みからやや高く推移し、満開日は早生で5月6日と、前年より7日程度遅く、平年より2日程度早くなった。

満開後の気温はほぼ平年並みになったものの、降雨量が少なく生理落果が多くなった。



2. 本年は極早生・早生みかんとも着果が少ない傾向にあり、現在高品質果実生産のため、マルチ被覆やフィガロンの散布を呼びかけている。

7月5日時点の果実肥大は、早生みかんで果径は29.1mm（前年比90.9%、平年比98.6%）と平年並みとなっており、現在は順調に生育している。

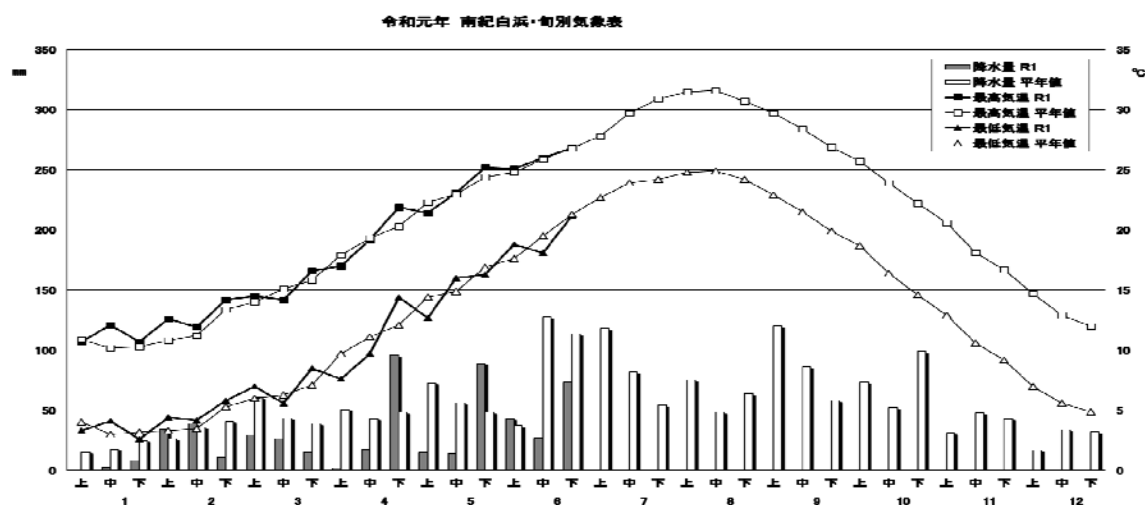
3. 今年産の生産予想量（7月10日時点）

品目	面積(ha)	生産予想量(t)	前年比	平年比
極早生	190.1	2,845	90.4%	84.0%
早生	454.6	5,841	93.7%	90.0%
合計(普通含む)	647.8	8,701	92.5%	87.8%

生産量は今後の気象等により変動することがある。

4. 病害虫については、開花時にハダニの発生が見られたが、現在は小康状態にある。

5. 果実生育期の気温は、ほぼ平年並みで推移している。また降水量は5月下旬から6月上旬は平年を上回る降雨があったが、それ以降は平年を下回っている。



南紀白浜気象データより